

ともに守る 安全・安心な暮らしを守り支えるまち

■災害用備蓄品購入事業

……………1, 388万2千円
昨年度に引き続き、「中央構造線断層帯による地震」の被害想定を基に、災害用備蓄品（トイレ処理セット、備蓄水、備蓄食糧、防災毛布など）を購入し、防災倉庫に格納しました。

■交通サービス利便性向上促進事業

……………676万5千円
市民や外国などからの来訪者に対する交通サービスの利便性向上を図るため、市内路線バス、コミュニティバスへのICカード導入に関する補助金を交付しました。

■消防団車両更新事業

……………3, 431万9千円
消防団車両を計画的に更新しており、令和元年度では、消防ポンプ自動車（高野口町応其）、小型動力ポンプ付積載車（隅田町下兵庫）、小型動力ポンプ付軽四積載車（柱本）の更新を行いました。

■杉村やすらぎ広場整備事業

……………9, 263万7千円
杉村公園は、国道371号バイパスや京奈和自動車道の整備によりアクセス環境が良くなったことから、利便性の向上を図るため、広場の整備を進めています。令和元年度は、駐車場および多目的トイレの建設などが完了しました。



■消防団納庫更新事業

……………2, 184万7千円
地域の防災機能の向上のため、防災拠点である消防団納庫（高野口町伏原）の新設工事や旧岸上消防団納庫の解体工事を行いました。

ともに育てる 子どもから高齢者までともに育み学びあうまち

■こども食堂支援事業

……………34万3千円
こども食堂実施団体によるこども食堂の設備や運営を支援するため、令和元年度からの3年間、橋本こども食堂支援補助金を設けました。令和元年度では、こども食堂を実施する5団体に補助金を交付しました。



■たんぼぼ園整備事業

……………334万7千円
たんぼぼ園園舎の老朽化対策および受入定員を増員するために、令和3年度の開園に向けて園舎の新築整備を進めています。令和元年度は、園舎新築のための設計委託業務を実施しました。

■市内小中学校空調設備整備事業

……………6億5, 416万円
児童・生徒の学習・生活環境を整えるため、市内小中学校の普通教室、特別支援教室、一部の特別教室などに空調設備の設置を行いました。

■ねんりんピック紀の国わかやま2019事業

……………1, 404万円
ねんりんピック紀の国わかやま2019において、橋本市では、ゴルフ交流大会、ソフトバレーボール交流大会を開催するため、市実行委員会への補助金の交付などを行いました。



令和元年度に実施した主な事業

ともに創る 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

■ふるさと橋本応援寄附金事業（歳入）

……………2億4, 924万2千円
市の魅力や地域産品などのPR・販売促進を行ったり、寄附受付サイトを増設したりするなど歳入確保に取り組みました。
その結果、令和元年度は前年度に比べて寄附の件数が約1.9倍、金額は約1.7倍に増えました。

■農産物産地化事業

……………184万2千円
橋本市農産物の新たな産地化・ブランド化を目指し、農家所得の向上による農業振興を図るため、高野山麓精進野菜のロゴマーク制作や講習会を行いました。
また、昨年度に引き続き、白ゴマの試験栽培などの取り組みを行いました。



▲ロゴマーク



▲高野山麓精進野菜

■プレミアム付き商品券事業

……………1億3, 280万9千円
令和元年10月の消費税10%への引き上げに伴い、住民税非課税者および3歳未満の乳幼児がいる子育て世帯の消費に対する影響を緩和するため、プレミアム付き商品券の販売を行いました。



■工業団地造成事業

……………1億1, 343万5千円
和歌山県・橋本市・南海電気鉄道株式会社の三者で実施している「あやの台北部用地開発事業」について、造成工事に着手しました。



▲造成工事の様子（令和2年9月末時点）

■転入夫婦新築住宅取得補助事業

……………1, 370万円
若年層および子育て世代の転入を増やし、人口の増加を図るため、新築住宅を取得した40歳未満の転入夫婦に対して補助金を設けています。令和元年度は、139人の転入者に対して補助金を交付しました。

■アジアヘラブナサミット事業

……………52万4千円
日本の釣具メーカー、竹竿師、アジアのヘラブナ釣りを支える関係者が集まり、アジア全体でヘラブナ釣りの課題を共有し、連携して魅力を発信する「アジアヘラブナサミット」を開催しました。



▲釣り大会の様子



▲ヘラブナ釣りの今後について話し合う登壇者の皆さん